

地球温暖化防止活動推進員通信

【第3号：平成23年1月26日発行】

<目次>

1. 特別寄稿
ストップ温暖化センターみやぎ
阿部 育子 副センター長
2. わたし(たち)の推進員活動
菅野剛夫さん (6期)
喜美恵さん (5期)
3. 活動 Pick Up (ピックアップ)
4. お知らせ



特別寄稿

推進員以外の方から、推進員の皆様へのメッセージを掲載するコーナーです。今回は、ストップ温暖化センターみやぎ副センター長であり、第7期新規推進員研修の講師も務めていただいた、阿部育子氏からのメッセージです。昨年末に開催された COP16 の現地の様子などにも触れておりますので、お見逃しなく！

「COP16 派遣で感じたこと」

ストップ温暖化センターみやぎ副センター長 阿部育子氏

「COP16」は、ご存知のように気候変動枠組条約第16回締約国会議のことです。私は幸いなことに派遣の機会をいただき、12月3日から最終日まで現地に滞在し、見たり感じたりして参りました。皆さん方の中にはもうすでに MELON、または JCCCA で WEB リポート(※)をお読み下さった方もいらっしゃるかもしれませんが、まだ伝えていないその他のことを皆さんとシェアしたいと思います。



さて、私が宿泊していたホテルでの出来事を2、3紹介しましょう。

滞在中、ドアの下に紙がさし込まれていたことが2度ばかりありました。1度目は工事のための「断水のお知らせ」でした。そして、もう一度は、スペイン語と英語で書かれていましたが、「HELP US」の文字が飛び込んできます。なんだろう？と読んでいくと次のような内容でした。「HELP US 環境を守るために。私たちはたった1回しか使わないタオルを毎日洗濯するのに大量の水を浪費しています。HELP US 大気汚染を避けるために。もし、あなたがタオルを元に戻さなければならぬとするならば、よく考えてから、床にそれらを PUT してください。もしそうでないなら、タオルを吊り下げたままならあなたのメイドはとり変えないでしょう。SAVE THE PLANET！」なるほど、COP16 に合せてかどうかはわかりませんが、地球環境を考えて

ゲストに協力を呼び掛けていることは確かです。また、それを読んだ泊まり客がそのことについて、深く考えるチャンスかもしれません。

しかし、同時に私はホテルでの別のことにも悩んでいました。まずエアコンが効きすぎる、つまりここでは寒すぎるのです。エアコンを切り、バスタオルで肩を包み、ブランケットをオーダーする、おまけにバスタブがなくシャワー温度はぬるい。夏の気温の土地に来て縮こまって部屋で過ごすのは、快適ではないのです。ホテルのみならず COP 会議場でも冷房ガンガン。これって変？じゃありませんか。またメキシコドライバーは飛ばすのが普通とのこと。エネルギーは SAVE できるのかな？時間は SAVE できるのに、メキシコ時間だからね、やっぱり変！（注：メキシコでは時間通りは少なく、遅れることが多い）

メッセ会場では200余りの団体が各ブースで自分たちの活動を紹介しています。そこで見た標語に確か「30ways in 30days」というのがありました。30日間では、30通りの方法があるよという意味にとらえると、もしかしたら「打つ手は無限にある」につながるのかもしれませんが。私たちは、小さいことでも今何ができるのか、推進員の皆さんと一緒に知恵と工夫で温暖化防止に取り組みたいものです。

※COP16のWEBリポートはこちら

http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/ru/COP16.html (MELON)

http://www.iccca.org/trend_world/conference_report/cop16/ (JCCCA)

わたし（たち）の推進員活動

第一線で活躍されている推進員さんやそのグループに、いろいろと語っていただきます。今回は、ご夫婦で推進員として活動している菅野剛夫さん、喜美恵さんに登場していただきます。

菅野 剛夫さん (6期)
喜美恵さん (5期)

仙台市青葉区

①推進員になろうと思ったきっかけ

子どもがそれぞれ独立し、孫が生まれた今、孫に残してやれるものは何かと考えたとき、この青い地球を美しいままで残して、孫・曾孫と続く子孫に楽しく安全に生きていってほしいと考え、私たちの残りの人生を少しでも地球温暖化防止に役立つ活動をと思い立ちました。

②委嘱を受けてからまず始めたこと

無駄に浪費している我が家の生活スタイルはないだろうか、我が家の生活の見直しから始めました。時計代わりの朝のテレビや、お昼までの炊飯器の保温など本当に無駄遣いのオンパレードでした。



我が家の実態や、省エネになるのではないかと始めたことが夫婦喧嘩に発展しかかったことなどの失敗談を学習会などに集まった市民に披露し、賢い省エネを勧めています。

大学院で環境を専攻したにも関わらず、理論と実践が咬み合っていない自分の愚かさに愕然とさせられました。

③推進員活動を通じて感じたこと学んだこと

推進員活動を通して学んだことは、私たちよりも市民の方が真面目に地球温暖化防止に役立つことはないかと考え、様々なことを実践されていることでした。イベントなどの会場で、イノシシが1年おきに亘理と角田の竹やぶに山越え出現し、タケノコを貪っていることなど貴重な情報を得たりしました。

また、省エネナビの笑顔の「ニコちゃん」や赤く怒っている「ブンブンちゃん」と呼んでいた実践の状態を知らせるマークによって、1～2歳の孫がメッセージを感じ、点けっ放しにしていた明かりを消したり、トイレの便座の蓋閉めに行く様子から、日常生活から省エネが身についていくナビの働き、「見える化」の必要性を学びました。

④今最も関心を持っていること

大勢の市民・県民の方との交流を通して、私たちに欠けている生活の知恵や工夫を学んでいきたいと考えています。

また、身近なごみ焼却場の煙突から出ている水蒸気の湯気をごみ焼却に伴うばい煙と勘違いしている市民感情をどうしたら水蒸気と納得してもらえるかを夫婦で時々考えています。これは理論ではなく、心から納得しなければ不快感を持ってしまい、それによって体調不良まで引き起こす可能性がある人間の『こころを持った動物』の避けられないものなのかということです。

⑤ここ最近の活動で印象に残ったこと、イベント

小中学校での環境教室の体験学習のシミュレーションで、大人が教材を使って進めていくと、想定していた通りの結果を導くのに、子供たちにシミュレーションさせると特に中学生の測定結果が想定外になることでした。

子供たちの動作を観察していくと、予め想定していた測定行動の中で、特に中学生はその範囲で最大限の抵抗・反逆を組み入れていることを発見しました。頭が柔らかく許容範囲内の遊びを入れて学習を楽しむ彼らの方が一枚上手ということが分かったのです。

毎回、次はどんなところを突いてくるかなと、小中学生への対抗心が老夫婦の生きがいになっています。

⑥今後の予定と目標

子どもへの啓蒙活動は、一度心から共鳴してくれると折に触れさまざまな局面で環境を考え生活スタイルと少しずつ変えてくれるので、これからも小中学生の環境教室・省エネ教室を持ちたいと考えています。

また、地域の市民への啓蒙活動も重要なので、市民まつりなどのイベントに参加し、地球温暖化防止をじっくりと進めていきたいです。

⑦最後に一言

植物の葉緑素で取り入れるCO2が科学者の目で、化学の力で対処してもらおう時期が早く来ると良いな～。



右側が菅野さん夫妻



活動 Pick Up (ピックアップ)

皆様から定期的にご提出いただいている活動実績報告から、皆様の取組みをピックアップして、紹介するコーナーです。今回は、平成22年8月～平成22年11月の活動報告の中から紹介いたします。また、今号では、編集担当がお邪魔したイベントのレポートも掲載いたします。

1. イベントレポート (8～11月)

編集担当が、推進員さんが関わったイベントにお伺い(潜入?)した際の体験談を掲載しています。

(1) 長泉寺キャンドルナイト (4期:山崎さん)

8月13日に、角田市の長泉寺でキャンドルナイトが開催されました。推進員である山崎さんが関わっているもので、毎年お盆の時期と大晦日の日に行われており、電気を使わない口ウソクの灯りを通して、環境について考えてもらうものです。

この度、編集担当が初めてお邪魔しましたが、写真で見る以上に、きれいで幻想的な世界を体験することができました。「チャレンジ25」のマークをキャンドルで再現するという凝った演出もありました。



境内の様子



チャレンジ25

すっかり毎年恒例の行事となり、地域の人々もたくさん訪れ、キャンドルの灯りを楽しんでいました。境内の中では、環境問題に関するビデオ流し、エコについての呼びかけも行っていました。

このような行事を行うには、毎年たくさんの工夫と大きなご苦労があると思います。ぜひ、これからも地域の方々を楽しみながら環境について考えていただけるよう、キャンドルナイトを続けてほしいと思います。

(2) 環境フォーラムせんだい2010

11月14日、せんだいメディアテークにおいて、「環境フォーラムせんだい2010」が開催されました。仙台市主催のイベントでしたが、当日は、たくさんの推進員さんがブース出展に参加し、それぞれの活動についてのPRをしていました。

尚絅学院大学生活環境学科に所属する学生推進員の皆さんのブースでは、「親子で学ぶ温暖化」と題し、「我が家のエコ度チェック」や、温暖化についての手作りの教材を配布するなどして、温暖化防止やエコ活動実践への呼びかけを行っていました。ベテランの推進員さんに負けず、若い世代も活発に活動していたのが印象的でした。



※手作りの教材とエコ度チェック表



ブースの様子

(3) 環境セミナーin 八木山動物公園「地球温暖化と動物たち」(地球温暖化防止活動ネットワーク)

地球温暖化防止活動推進ネットワークの皆さんによるセミナーが、11月14日に八木山動物公園で開催されました。

セミナーでは、前半は八木山動物公園の遠藤園長より「地球温暖化が野生生物に与える影響」というテーマでお話がありました。後半では、パネルディスカッションを行い、活発な意見交換が行われました。



遠藤園長による講演



「地球温暖化と動物たち」というテーマは、一般の方々にも身近に感じてもらえる題材であり、今後の展開の仕方によっては、面白いものにできるのではないかと感じました。今回の企画に止まらず、これから実践と経験、そして改善をどんどん積み重ねていただき、温暖化防止のために有効な情報発信をしていただきたいと思います。

2. わたしの出会ったこんな出来事

今回も皆様からたくさんのご報告をいただきました。その中からいくつかの活動をご紹介しますと思います。

(1) 塚崎隆夫さん（第5期）の報告より

★活動風景



★報告書のコメント（抜粋）

「地球温暖化の仕組み」をパワーポイントで作成、小学校の保護者に6年生に初の授業を行いました。難しい内容ながらアンケートでは“意外”にも好評で小学生なりに理解されたようです。同じ素材を使い説明した…中学生の授業では、一生懸命理解しようとして…幾つかの質問がありました。さまざまな資料を利用、一部手作りして作成に時間を要しましたが、いかにやさしく伝えるかに苦労し、また自分の知識の薄さ、経験の未熟さを痛感いたしました。

（編集部より）

推進員さんのグループが小・中学校で授業を実施したときの出来事を、参加した皆さんを代表して塚崎さんの報告書よりご紹介。皆さんも経験があると思いますが、子どもたちに分かりやすく伝えることは、とても難しく、準備も大変なことです。将来を担う子どもたちが授業をきっかけに温暖化防止に関心を持ってくれたらとても嬉しいですね。今回の経験が次の機会を活かされてくるのではないかと思いますし、今回感じたことを皆さんの間で共有することで、全体のスキルアップが図れるかもしれませんね。参加した皆様、大変お疲れ様でした！

ちなみに、宮城県では小・中学生用の「e行動宣言」も用意していますので、ぜひご活用下さい。

(2) 伊藤道子さん（第1期）の報告より

★活動風景



★報告書のコメント（抜粋）

エコ森林グループとして取り組んだ春の環境市民講座「森で遊ぼう」がとても好評だったせいなのか、エコ森林としていくつかのイベントへの参加が要請され、活動の場が広がりました。

今泉で受けた省エネ診断の方法も、11月の名取秋祭りの取り組みのひとつとして提案実現でき、推進員同士のスキルアップが有効に機能したと思います。

※左の写真は、「環境フォーラムせんだい2010」でのブース出展の様子。

（編集部より）

推進員のみなさんが取り組んだ市民講座をきっかけに活動の場が広がったこと、推進員同士で実施した研修会で、お互いのスキルアップを図れたということは、今後の活動を行う上で大きな一歩になった出来事ではないかと感じました。地道に活動を続けていくことや、ノウハウを共有することが、飛躍のきっかけになるということを、改めて感じさせてくれる事例ですね。

なお、今回の活動実績報告の提出数は、60/119件でした。

お知らせ

県からの地球温暖化防止などに関するお知らせを掲載いたします。

★「光の貯金」事業を実施いたしました。

今年の12月に、家庭やオフィスなどの二酸化炭素削減量をイルミネーションの灯りになぞらえて「見える化」する、「光の貯金」事業を実施しました。今年は、仙台（12月21～25日）、石巻（12月23日）、登米（12月4日）の三地域で開催し、当日は体験コーナーにおいて、「光の貯金」のバーチャル体験、省エネチャレンジクイズ、BDF発電やLED電球によるアクリルオブジェ（東北工業大学高校作成）などの展示などをいたしました。

体験コーナーには、たくさんの方々にご来場いただき、温暖化防止を呼び掛けることができました。また、今回の事業にご協力・ご応募いただいた推進員の皆さまには、心より御礼申し上げます。

来年度は、更に範囲を広げて実施したいと考えております。推進員の皆様には、それぞれの地域において「光の貯金」を広めてもらうことで、県内に温暖化防止の「環（わ）」を作っていけたらと思います。

★「なっ得！発見！エコフォーラム」を開催いたします。

「ダメだっちゃ温暖化」宮城県民会議の主催で、「なっ得！発見！エコフォーラム」を下記のとおり開催いたします。

県民の皆様が、地球温暖化防止のためにできることを発見し、実践に繋げていただけるような内容を企画いたしました。

県内の様々な温暖化防止の取組みが紹介されますので、推進員の皆様の来場もお待ちしております。また、ご家族やお知り合いにもご来場をお声掛けいただければ幸いです。



「光の貯金」体験コーナー

むすび丸も応援に！

★「なっ得！発見！エコフォーラム」開催概要★

日時：平成23年3月27日（日） 12時30分から16時まで

場所：せんだいメディアテーク（オープンスクエア）

主催：「ダメだっちゃ温暖化」宮城県民会議（宮城県）

内容：(1) ステージの部

こどもエコクラブ壁新聞発表会、地球温暖化防止に関する講演会
宮城県自然エネルギー等・省エネルギー大賞表彰式、取組み発表会

(2) 展示の部

クイズラリー、地球温暖化防止活動の取組み展示、マイバック・マイタンブラー作成コーナー



※昨年のフォーラムの様子

★第2・4・6期の推進員の再委嘱と委嘱状交付式について

第2・4・6期の推進員のみなさまは、推進員の任期が2011年3月末までとなっております。次年度以降も、継続して推進員としての活動する場合は、改めて再委嘱（任期2年）いたします。該当するみなさまには、別途、意向の確認を行います。

また、4月には県庁において、委嘱状交付式と研修会を予定しております。こちらについては、後日、推進員のみなさま全員にご案内いたします。他の推進員の皆様と情報交換を行う貴重な機会になると思いますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

★活動報告について

次回の活動実績報告は、4月です。12月から3月までの活動についてご報告願います。

今回のように、皆様の活動が「通信」に掲載されるかもしれません。活動を通じて感じたこと、他の推進員さんにも伝えたいことなども、詳しく教えていただきたいと思います。

★山崎義幸さん（4期）が2月5～6日に東京で開催される「低炭素杯」に宮城県代表として出場し、これまでの活動を全国にPRします！

※「低炭素杯」の詳細については、別添チラシまたはホームページ（<http://teitansohai.jp/index.html>）をご覧ください。

<編集後記>

はやいもので、新年を迎え、「推進員通信」も第3号の発行となりました。今回も御協力いただいた皆様には、心より御礼申し上げます。毎回素晴らしい原稿が届くので、通信も、担当者の予想以上の仕上がりとなっております、嬉しい限りです。

「特別寄稿」では、昨年末に行われたばかりのCOP16についてのエピソードが掲載されており、大変貴重な内容であったと思います。エコについて、改めて考えさせられます。

また、今回は新たに、推進員さんが関わったイベントレポートを掲載しましたが、いかがだったでしょうか？全てのイベントに伺うことはなかなか難しいですが、できるだけ足を運ぶようにしたいと考えております。もしお声掛けがあれば、取材させていただきたいと思っております。推進員の皆様も、メーリングリスト等を活用し、積極的な情報発信をお願いいたします。

（担当：成田）

★ご意見・ご感想はこちらまで★

（編集部）

宮城県環境生活部

環境政策課地球環境班

TEL：022-211-2661

FAX：022-211-2669

URL：kankyoe@pref.miyagi.jp

※感想・ご意見募集中！メール発信に御協力を！

※バックナンバーのダウンロードはこちらから！

<http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/ondanka/suishinin-shiryo.htm>

